

酪農汚水処理施設の改修工事

当センターが 10 年前に酪農場に設置した汚水処理施設に付帯する汚泥濃縮装置が老朽化したため、今回、当センターの指導のもとに新たな装置に取り替えました。

汚泥濃縮装置は、16 年前に当センターが独自に製作したもので、曝気槽の活性汚泥※を 5 分の 1 の容積に濃縮し、余剰汚泥として回収する装置です。

各農場に設置した汚水処理施設等（28 箇所）については、今後も継続的に施設の管理状況を把握し、安定して働くよう改善指導を行っていきます。

※活性汚泥：有機性排水・汚水の処理方法に用いられる好気性の微生物群の総称。下水処理場、し尿処理場の曝気槽において有機物の浄化に貢献しますが、次第に増加するため、定期的に回収することが必要。



新たに設置した汚泥濃縮装置